

2023 (令和 5) 年度 研 究 計 画 書

部門名 災害看護部門

【研究組織】(必要に応じて行を増やしてください。)

役割	氏名	所属・職名	具体的役割分担
研究代表者	日赤花子	日本赤十字看護大学	研究総括
研究分担者	A	△△看護専門学校	調査計画
研究分担者	B	△△病院	調査データ分析

【研究計画】

I. 研究計画の概要		
1.	研究テーマ	看護系大学における防災対策・教育の実態
2.	研究概要	(10 行程度で記載してください。) 東日本大震災以後、国内の防災・減災対策は極めて重要となり、すでに日本看護系大学協議会からも防災マニュアル指針が出されている。いっぽう、このマニュアルの活用程度や、個々の大学が具体的な防災対策等をどの程度講じているのか実態は明確ではない。 本研究では、①アンケート調査と②面接調査を実施する。①では全国の看護系大学 270 校、および、A 系列の専門学校 16 校を対象にアンケート調査をおこなう。また、②としては A 系列の 6 大学及び専門学校 6～12 校に研究依頼を行い、研究参加者を 18 名に対して面接調査を実施する。得られたデータは、①SPSS にて基本統計量及び記述統計分析を行い、②質的記述的分析を行い、看護系教育機関の実態を把握し、課題を明確にしたうえで現状に即した対策を講じていくための一助とする。
3.	研究背景	(先行研究及び関連文献の検討を含めて記述してください。) 東日本大震災以後、国内の防災・減災対策は国及び地方自治体を始め様々なレベルで検討されている。なかでも防災教育という視点から、多角的に防災を学ぶための教育の必要性が指摘されている (2013.8.30.朝日新聞)。 この課題は高等教育機関にとっても重要な課題である。特に看護系の高等教育機関である看護系大学、教育機関の中でも最も多くの養成数をもつ看護専門学校にとっては、自らの命を守るための防災意識や安全行動がとれるための防災教育を行だけでなく、災害時発生時に看護教育機関として地域住民や近隣の医療福祉施設の患者、入居者、家族等の命と人権を守るための諸活動を担う等の課題を抱えている。 すでに看護系の高等教育機関の防災対策に関しては、日本看護系大学協

2

3

	く。 3) 文献収集、翻訳 研究の場合は、収 集・翻訳を行う計 画を書く。 4) 機材開発やシ ステム開発研究の 場合は、開発を行 う計画を書く。	を無作為抽出しインタビュー先をリストアップする) に研究依頼を行い、 研究参加者を 18 名程度募集する。 ・参加者の募り方：専門学校については、A 系列の各ブロックから 1～2 校を便宜的に抽出する。各大学および専門学校の長に書面により依頼を行 い、該当者を紹介していただき、承諾が得られた方を参加者とする。 ・面接内容：防災対策に関する取り組みや実情や課題等
11.	データ収集方法 <注意> *研究方法によって 異なるので、この 欄は工夫して書い て下さい。	a. アンケート調査 上記アンケート用紙を、対象教育機関に郵送する。返却のための切手・封 筒等は同封し、同意した施設は研究者に返送する。 b. 面接調査 参加者と面接日時・場所の調整を行った後、対面にて(コロナ禍では WEB、 面談もあり)・1 回あたり 60 分のインタビューを 1 回実施し、データは許 可を得て IC レコーダーに録音する。
12.	データ分析方法 <注意> *この欄も研究方 法によって異なる ので、工夫して書 いてください。	a アンケート調査 ・統計ソフト SPSS Statistics Ver.23 を使用し分析し、記述統計量を算出 する。 b 面接調査 ・インタビュー内容は逐語録に起こし、防災対策に関する取り組みや実情 や課題に関して分析する。
II. 研究倫理 日本赤十字看護大学研究倫理審査委員会により、研究倫理審査を行います。 世界医師会の「ヘルシンキ宣言」以降の研究倫理に関する宣言、および「人を対象とする生命科学・医 学系研究に関する倫理指針ガイダンス」「看護研究における倫理指針」「疫学研究に関する倫理指針」等 の趣旨に沿って倫理的配慮を記載してください。		
1.	説明に基づく同意	(説明と同意、強制力の排除、同意撤回、代諾、アセント、オプトアウト)

		*代諾：本人の代理として同意・承諾の手続をすること *アセント：研究協力者が未成年の場合、対象者に分かりやすい言葉で十分説明し理解が得られるようにすること *オプトアウト：研究対象者に一人ずつ同意を得る代わりに、研究概要などの情報を通知あるいは公開し、研究の実施継続に関して、対象者が拒否できる機会を保障すること (1)研究者が所属する施設の研究倫理審査委員会の承認を受けてから、研究を実施する。 (2)アンケート調査の場合は、アンケート用紙の返信をもって同意を得られたものとする。 (3)インタビュー調査の場合は、書面による研究協力への同意を得た人のみを対象とし、途中中断してもよいことを伝え、自由意志による参加を保障する。途中中断の場合に使用できる同意撤回書を準備する。
2.	個人情報・プライバシー保護	(個人情報・要配慮個人情報の有無、プライバシー保護、匿名化、データ保管と破棄、収集したデータの二次利用の可能性) (1)研究結果は、研究参加者の関連学会や報告書にて公表すること、研究協力をいただいた施設には報告書を送付することをお約束する。また、公表に際しては個人及び施設を匿名化し、個人及び施設が特定されないよう配慮する。 (2)データ入力作業や逐語録作成作業は業者に委託するが、プライバシーポリシーの公表をしている等の業者に委託し、個人情報を保護する。
3.	安全と危険 利益と負担	該当する□に✓を記入してください。 介入・調査の侵襲性 □あり (□軽微な侵襲 □軽微を超える侵襲) ☒なし 薬剤または医療機器の使用 □あり ☒なし 遺伝子解析 □あり ☒なし 危険/負担：(介入による負担の他、研究参加のための時間や費用の負担を含む) 質問紙調査及び面接調査両者において時間的負担を生じる。 インタビュー調査においては、インタビュー途中であっても表情や口調等からインタビューを継続することが困難な状況と考えられる際には、途中でであっても中断もしくは中止する。またインタビュー終了後日にちが経過してからも不調が生じた際には院内のカウンセラーにつなぐなど適切な対応をとる。 安全/利益：日頃自校で取り組んでいる防災対策に関する取り組みや実情

		や課題が明らかになり、施設レベルで改善に向けて検討をしていく一助となる。
	補償	補償措置 ☐ あり（具体的に記入してください。） ☐ なし
4.	報告・相談体制	（研究計画変更、有害事象等の発生、研究の中止、終了等の報告等） （参加者からの問い合わせ先窓口と具体的対応等） 研究代表者：〇〇 連絡先：△
5.	利益相反	☐ あり（具体的に記入してください。） ☐ なし
III. その他		
1.	他の研究費 併願申請状況	該当する ☐ に✓を記入してください。 ☐ 科研費（文部科学省-日本学術振興会科研費 JSPS） ☐ 日本赤十字学園 ☐ その他（具体的に記入してください。） ☒ なし
2.	研究結果の還元	☐ 学会発表（具体的学会、予定時期を記入してください。） 日本赤十字看護学会、202〇年、日本災害看護学会、202〇年〇月 ☐ 論文発表（具体的学会、予定時期を記入してください。） ☐ HP公表

【研究計画書（様式1）に添付する資料】（該当する☐に✓を記入してください。）

	倫理教育受講証	☐ 別添
	同意説明文等	☐ 説明文 ☐ 同意書 ☐ 同意撤回書
	参考資料	☐ （施設への協力依頼書、参加手順書、アンケート用紙、インタビューガイド、ポスター等）
	その他	☐ （他施設の倫理審査承認書等）